

令和3年度事務事業実績評価表

1 事業概要

事務事業名		社会援護推進事業		課名	福祉課	事業No.	70
				会計	一般会計		
				事業区分	経常	実施区分	継続
根拠		主要区分	主	記号	計画等名称		
		戦略計画					
		分野別計画					
事業目的		対象	市民、戦没者の遺族				
		意図	犯罪や非行の防止と罪を犯した人の更生に理解を深めることによる明るい地域社会の構築。戦争で亡くなられた方及びその遺族に対する弔慰。				

2 事業内容

3年度 取組	取組内容		経費の内容				事業費(千円)
	・社会を明るくする運動の活動として「愛のはがき募金」「公開ケース研究会」「地区講演会」「中学生対象講話会」「小中学生への啓発」「作文コンテスト」「ミニ集会」「街頭啓発活動」を行いました。 ・新型コロナウイルス感染症の影響で1年延期した戦没者追悼式(5年に1回)を出席者数を限定するなど感染症対策を講じて開催しました。		特別弔慰金事務経費				12
			戦没者追悼式経費				561
			遺族会補助金				80
			その他の経費			0	
活動指標	指標名 (数値で表せる活動量)	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
			計画	実績	計画	実績	
	社会を明るくする運動事業参加者数/市民の人数	%	4	2			
	愛のはがき募金	千円	2,900	3,150			
3年度 決算 (千円)	予算額	1,005	特定財源内訳及び補足事項				
	決算額	653					
	財源の 状況	国庫支出金	0				
		県支出金	0				
		地方債	0				
		その他	0				
	一般財源	653					

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	3	1	2	10	1	1,005	653	援護一般経費
2									
3									
4									
5									
6									
7									
振り返り課題認識		社会を明るくする運動の各事業について、毎年地区を変えながら開催しています。コロナ禍で人数を制限しながら、全ての事業を実施出来ました。昨年度、多くの事業が中止となったことで、市民の関心が低くなった面があります。「更生保護」「社会を明るくする運動」の認知度、理解度を高めるために、毎年、規模は小さくても継続して実施することが大事と思われる。							
上記の課題解決のための有効策		推進委員会を中心に、実施した事業を振り返り、改善点があれば対応します。令和3年度の振り返りでは、街頭啓発の実施時間帯や啓発資材の変更検討、募金の謂れを周知する、集会の開催は大人数にこだわらない、などが挙げられました。							
次年度に向けての取り組み		振り返りで挙げられた点を検討して、継続を第一に考えて企画、実施します。							